

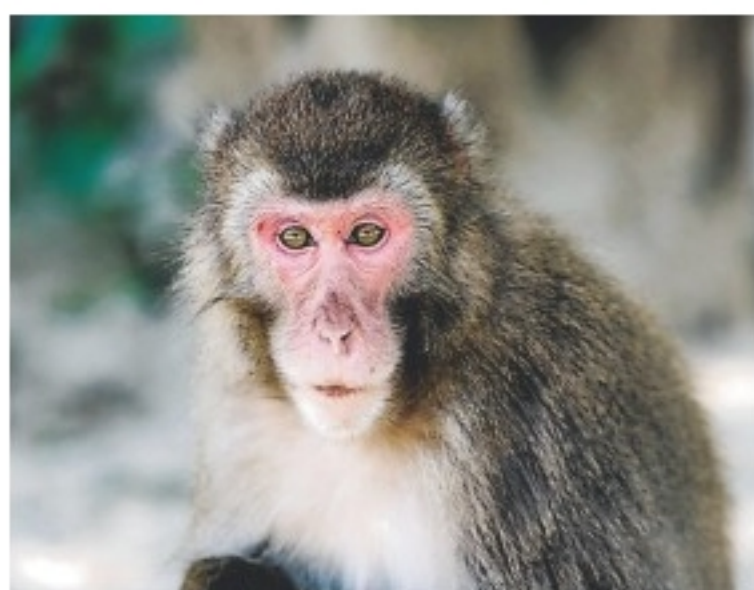
サル社会初の「女性トップ」

大分の動物園

野生ニホンザルの餌付けで知られる大分市の高崎山自然動物園は31日までに、9歳の雌ザル「ヤケイ」が、高崎山に生息するB群（677匹）のトップに立ったと発表した。同園で就任式が行われ、園のスタッフは「サルの社会にも女性トップの時代が来た」と歓迎した。

園によるとヤケイは2月末ごろ、2位の雄ザルからの求愛を後ろ盾に力を誇示し始め、序列上位の雄ザルたちから恐れられ

9歳雌、雄のボスザル倒す



るように。6月下旬には雄のボス「ナンチュウ」（推定31歳）とのけんかで優位に立った。そ

の後の観察で、ナンチュウがヤケイを見ると逃げる様子を確認。ヤケイ優位と判定した。

スタッフの下村忠俊さん（47）は「園の約70年の歴史で初の出来事。ヤケイがいつまで1位でいられるのか観察していきたい」と、今後の展開に期待を込めた。

園を訪れた大分県日田市の安達琳君（8）は「僕のお母さんみたいですごい」。母唯さん（31）は「とうとう女性の時代が来たなと思います」と笑った。

B群のトップに立った雌ザル「ヤケイ」は6月、大分市（高崎山自然動物園提供）